

具氏博物學

須川賢久譯

三

福岡第一師範學校
(學校圖書)

登錄 番 號	第	號
自然科學 門		
生物學部 部		
總記	款	項
目 次		
全 4	冊之内第 3	冊
分類 番 號	第 25470	號
460.0		

校學範師

書 門 物

部 般

番

10. 冊之内

T1A1

46

Su27g

圖書 和圖書 遡



福岡教育大学蔵書

福岡教育大学蔵書
植物分類法

具氏博物學卷之三

植物分類法

須川賢久 譯

田中芳男 校

上文ニ記セルカ如クリンミース氏植物界ヲ分
ケテ二十四綱ト爲レ此綱ヲ又分ケテ目屬種ト
爲ス例ヘバ此二十四綱中第三綱三雄藥ハ雄藥
ノ數三ヲ具有レタル花ノ植物ハ皆此綱ニ屬ス
蓋此綱ノ植物ハ均レク三個ノ雄藥ヲ具スト雖
モ其中ニ殊異ノ性アルニ依リ更ニ之ヲ分ケテ

博物學

卷三

明治九年二月

卷三

具氏博物學

文部省

圖 一 十 四



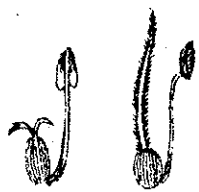
三目トス其ハ一個ノ雌藥ノ有セル者ニレテ之ヲ一雌藥ト名ヅケ其二ハ二個ノ雌藥ヲ有セル者ニレテ之ヲ二雌藥ト名ヅケ其三ハ三個ノ雌藥ヲ有セルモノニレテ之

ヲ三雌藥ト名ヅケ左ニ記載スルリシニス氏ノ分類法ハ植物ノ

雄藥雌藥ノ數及結合位置等ニ基キテ設ケレドノナレバ某植物ノ何綱何目何屬ナルヲ決セシト欲セバ其植物ニ具スル所ノ雄藥雌藥ノ數其結合位置等ヲ知ラシコトヲ要ス

○第一綱 單雄藥 此綱ノ花ハ一個ノ雄藥ヲ

圖 二 十 四



有スル者ニシテ此綱中ニ屬ト稱スル者三十三、又種ト呼フ者二百五十アリ其第一目一雌藥ハ一個ノ一雄藥ト一個ノ雌藥

トヲ具有セルモノニレテ多クハ美麗ナル外國

産ノ植物ナリ且交易重要ノ品タル尋常ノ生薑
モ亦此目ニ屬ス此綱中植物ノ種子及根ヲ多ク
藥劑及染料ニ用ヰル即鬱金阿蘿蘆山奈等ニレ
テ最モ其香氣ヲ貴フ此綱ノ植物ハ其形蘆ノ如
キ草本ノ植物ニシテ葉大ニ花美麗ナルモノ多
シ
第二目ニ雌藥 此目ハ二個ノ雌藥ノ有セル者
ニシテ其屬セリ一ヲ水馬齒ト云フ即オート
ルスタルオルトノ水草ナリ此水草ハ多ク溝渠ニ
生ハルモノナリ

第一綱雌藥雄藥ノ區別并第一目第二目ノ區別
ハ第四十二圖ニ明ナリ

○第二綱 二雄藥 ダイニキョウヤク 此綱ノ花ハ只二個ノ雄藥

ヲ有セルノモノニシテ綱中ニ
三目アリ此目ヲ又分ケテ六
十一屬トス

第一目一雌藥 此目ハ一綱
ノ雌藥ヲ有セル者ニシテ之
ノ二雌藥三雌藥ノ者ニ比ス

レバ其屬頗多シ美麗ニシテ芳香ナル素馨或ハ

圖 三 十 四



有用ナル阿利機或ハ四時美色ナル灌木類或ハ連翹（ハナハナ）樹梓（イナ）等ハ皆此目中ニアリ

第二目二雌藥 此目ハ二個ノ雌藥ヲ具有セル

植物ニレテ其屬僅ニ三個ノミ且此目ニ屬スル

植物ハ皆眞ニ禾本ト謂フ可キモノナリ

第三目三雌藥 此目ハ二雌藥ト三雌藥トヲ具

有セル植物ニ、其屬僅ニ二個ノミ即胡椒及

「ペピ」ミヤ胡椒（ミヤ）類ニレテ此二屬ハ殆相類似セリ

胡椒ハ汎ク辛料ニ用ナルモノニシテ印度地方

ニ於テ大ニ之ヲ耕植ス交易最貴ノ品ナリ

此綱及目ノ區別ハ第四十三圖ニ詳セリ

○第三綱 三雄藥 三個ノ雄藥ヲ具有セル花

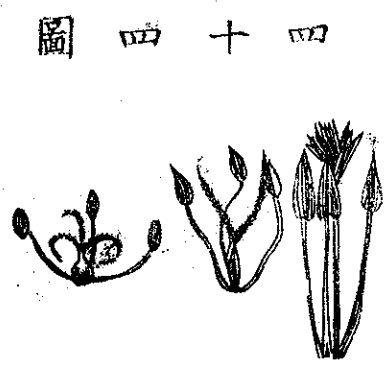


圖 四 十 四

ハ皆此綱ニ屬ス其目三、其屬二百七、其種千五百四十九ア

リ且此綱中ニ列スル植物ハ

至要ノ者ニシテ各種ノ穀類

及禾本ナリ其色青々トシテ

地ヲ掩ヒ常ニ牧畜ノ食料ト

ナル而シテ冬寒ノ來ル積雪郊野ヲ被覆スルコ

方リ乾艸ト爲シテ之ヲ儲蓄ス又正シク穀物ト

稱スル有用ノ植物ハ概皆此綱ニ屬セリ

此綱ヲ分ケテ三目トス即一雌藥、二雌藥、三雌藥

是ナリ其一ハ一個ノ雌藥ヲ有レ其二ハ二個ノ

雌藥ヲ有レ其三ハ三個ノ雌藥ヲ有ス尋常ノ禾

本ハ大抵第二目ニ雌藥ニ屬ス即大麥、小麥、黍、粟、

稻、曲、黍、譯義狐尾禾、譯義貓尾禾、譯義燕麥、雞脚禾、譯義并ニ

甘藷等是ナリ

第三目三雌藥 此目中ニ十二屬ヲ包有セリ蓋

此屬ハ過半水中ニ生レテ毎年死枯スル雜草ナ

リ其中頗奇ニレテ且美ナル者アレドモ乏ク耕

植スル者ナク唯植學參考ノ爲ニ聚集スル

○第四綱 四雄藥 此綱ニ屬スル植物ハ皆四

個ノ雄藥ヲ具有レ其長サ各一

揀ナリ且此綱ハ殊ニ記憶スベ

レ何トナレバ第十四綱ノ二雄

長ニ雄短者モ亦同ジク四個ノ

雄藥ヲ具有レテ其二雄藥ハ長

ク二雄藥ハ短キヲ以テコレヲ

圖 五 十 四



別タシガ爲ナリ

第四綱ヲ分ケテ三目トス即一雌藥、二雌藥、四

雌藥ニルテ各皆雌藥ノ數ニ依ルモノナリ近刻
ハ書ニハ全目中ニ殆百十九屬及百二十七種
包有ス第一目ノ屬中ニハ美麗ノ灌木及喬木多
レ是等ノモノ多クハ喜望峰及澳大利亞ノ土産
ナリ米國ニ生スル灌木ノ一種ニテ最モ重スル
金縷梅^{マシサクラ}モ亦此小目中ニ在リ
第三目四雌藥 此目ハ僅ニ七屬ヲ包有スト雖
モ此屬中ニハ能ク認知セル狗骨葉冬青^{ホナハツキ}アリ且
池水ニ生ズル尋常ノ雜草及緩流ノ江河ニ生ズ
ル眼子菜^{アイソクサ}モ亦此目ニ屬ス

(一)第五綱

五雄藥

圖 六 十 四



此綱ノ花ハ五個ノ雄藥ヲ
具有セルモノニレテ之ヲ分
ケテ六目トス蓋此綱ハ他ノ
綱ニ比スレバ兩藥ノ結構甚
分明ナル花ヲ開ク植物ヲ包
有ス第一目一雌藥ハ其屬ト
種トノ數甚多シ開花スル各

種ノ植物ハ大凡此目中
アリ即喬木灌木陸生
及水生ノ植物蔓延植物匍匐植物攀登植物以
一年生植物二年生植物宿根植物落葉植物常綠植

物、柔軟及堅硬ノ植物等是ナリ

第二目ニ雌藥 此目中ニ在ル植物ハ皆五個ノ

雄藥及二個ノ雌藥ヲ具有セルモノニシテ美麗

ナル有用ノ植物多レ且此目中ニハ甚奇形ナル

花ヲ開ク白微即スワルロー、オルドアリ又無葉

植物ノ一種ニシテ甚珍異ナルスタビリヤ即

ラチルオルトアリ此花ノ形狀及彩色最モ奇異

ニシテ其臭氣殊ニ厭フベレ故ニ常ニ敗肉ニ集

ル所ノ蠅モ屢此花片上ニ其卵ヲ附著スト云

第三目三雌藥 此目ハ三個ノ雌藥ヲ具有スル

モノニシテ此目中ニ美麗ノ「ラウレスチン」新マ

種一並ニ有用ナル接骨木等アリ且野生ニシテ能

ク繁茂シ諸般ノ用ニ供スル漆樹科ノ品類モ亦

此目中ニ屬ス

第四目四雌藥 此目ハ四個ノ雌藥ヲ具有セル

モノニシテ此目中只一屬アル

ノミ其屬ハ米國ノ沼池ニ生ス

ル美麗ノ草ニシテ梅鉢草和名ト

名ヅク其屬四種アリ其三ハ皆

北亞米利加ノ土産ナリ

四十七圖



第五目五雌藥、此目ハ五個ノ雌藥ヲ具有セル
 モノニシテ此目中十九屬ヲ包有ス其屬中甚美
 麗ノ「クラシムラ」類アリ「クラシムラ」類ハ津液多キ植
 物ノ一種ニシテ多クハ喜望峰ヨリ移殖セシモ
 ノナリ且麻布製造ニ供スル亞麻モ亦此目ニ屬
 ス
 第六目多雌藥、此目ハ許多ノ雌藥ヲ有セル小
 目ニシテ僅ニ三屬ヲ包有ス其中二屬ハ外國ノ
 植物ニシテ一ハ「ミオミリス」ニモス即「マウス
 テール」是ナリ

四十圖



○第六綱 六雄藥

此綱ヲ分ケテ四目トス
 一雌藥二雌藥三雌藥多雌藥
 等はナリ此綱中ニハ二百個
 ノ屬ト大凡一千七百二十七
 個ノ種トヲ包有ス米國ニ生
 バル球根ノ諸植物又開花ノ
 諸植物或ハ又庖厨用ニ供スル植物類ハ大半此
 綱ニ屬ス即水仙、百合、亞米利加蘆薈、文殊蘭、白蘆
 薈、和名鳳梨、葱、天門冬等是ナリ
 第二目二雌藥、此目ハ僅ニ三屬ヲ包有スト雖

モ其一ハ熱帶及温帶ノ諸國ニ住スル人民ニ缺
ク可テサル要品ナリ即印度國ニテ食料ノ首品
タル稻米ハ此屬ニシテ灌漑ヲ得ベキ平坦ノ土
地ニハ皆能ク之ヲ耕植セリ且米ハ容易ニ食物
ト成リ又甚滋養トナルモノナリ

第三目三雌藥 此目ハ球根及塊根ニシテ莖幹
アル植物數多ヲ包有フ此中ニ世人ノ能ク認知
セル羊蹄^{ランタナ}アリ

第四目多雌藥 此目ハ只四個ノ屬ヲ包有スル
ノミニシテ此四屬中ニ最モ美麗ノモノアリ澤

瀉是ナリ此植物ハ池又ハ泥炭多キ沼ニ生
スルヒノタリ

○第七綱 ^{ヘプタンドリア}七雄藥 此綱ハ四目十五屬四十八

種ヲ包有ス



圖九十四

第一目一雌藥 此目ハ七個
ノ雄藥ト一個ノ雌藥トヲ具
有スル花ニシテ此目中ニ二
屬殆ト相類似セルモノアリ即
「エスミリス」及「パビ
ヤナル」二種ノ七葉樹^{ヘプタナ}是ナリ
此二屬ハ元來外國ヨリ移植セシモノナレドモ

米國ノ林木中ニ於テ最モ美麗ナルモノタリ尋
常ノ花ハ世人ノ能ク知ル所ナリ又「パビヤ」ノ一
二種ハ其花赤色鮮明ノモノナリ此種ノモノハ
殊ニ美麗ニシテ大ニ景色ヲ増飾スルモノナリ
尋常ノ七葉樹ハ核果ヲ生スルコト甚多シト雖
モ鹿ヲ除クノ外絶エテ之ヲ食ハフモノナレ
第二目ニ雌藥 此目ハ七個ノ雄藥ト二個ノ雌
藥ヲ具有セル植物ニシテ此目中ニ只一屬ヲ存
スルノモノ即喜望峰ヨリ移植セル一種ノ草ニレ
テ四時凋落セザル「リメタム」アフリカニ「是」ナ

リ

第三目四雌藥 此目ハ四個ノ雌藥ヲ具有セル
モノニシテ此目中只二屬ヲ包有セリ即「三白草」
及近來支那ヨリ移植セシ「アストランダス」等
ナリ

圖 十 五



第四目七雌藥 此目ハ七個ノ
雄藥ト七個ノ雌藥トヲ具有セ
ル植物ナリ大凡植物ノ屬其數
三千有リテ其中七個ノ雄藥ト
七個ノ雌藥トヲ具有セルモノ

ハ只此第四目中ノミ限レリト云フ嗚呼造物者此植物界ヲ整頓スルニ丁リテ偶然セテ數ヲ忘却セタル歟豈一奇事ト謂ハサル可シヤ

○第八綱

八雄藥

八個ノ雄藥ヲ具有セル植物ハ皆此綱中ニ在リ之ヲ分ケテ四目トス目中ニ七十七屬及一千五十九種ヲ包有ス第一目一雌藥ハ一個ノ雌藥ヲ有スルモノニレテ此目中又數多ノ屬アリ其中ニテハ

圖一十五



トナルカサクフノ類ハ其種類多クシテ著名ノモノナリ此目中一千五十九種ノ中ニテ五百四十三種ハ皆ハートトノ種ナリ此種ハ多分亞非利加ノ土産ニレテ其他ノ一二種ハ英國及歐羅巴大洲ノモノトス美麗ナルヒュニア花水及數多外來シタル艷麗ノ屬等ハ皆此綱中ニ在リ

第二目二雌藥 此目中只五屬ヲ包有スルノミ此屬ハ皆外國産ノ植物ナリ此目ハ八雄藥及二雌藥ヲ具有ス

第三目三雌藥 此目ハ三個ノ雌藥ヲ具有セル

モリニシテ九屬ヲ包有セリ此屬中ニ在リテ最
モ顯著ナルモノハ海邊葡萄^{イブキ}及西印度ノ無患^{ムシクシ}
樹等^ノ是ナリ

第十二圖



邊ニ苗ヲ生ズル奇異ノモノアリ

○第九綱 ^{イブキ}九雄藥 此綱ニ屬スル植物ハ皆九
個ノ雄藥ヲ具有セルモノニシテ此綱中ニ包有

第十三圖



セハ所ノ種ハ其數甚多カラ
ズ此綱ヲ分クテ三目一ス目
中ニ十屬及七十種ヲ包有ス
第一目一雌藥ハ九個ノ雄藥

ト一個ノ雌藥ヲ具有セル植物ニシテ此目中ニ
ハ芳香アリテ且有益ナル肉桂及數多ノ油質類
其他有用ノ物品ヲ製出ス可キ有名ノ樟樹等アリ

第二目三雌藥 此目ハ九個ノ雄藥ト三個ノ雌
藥トヲ具有セル植物ナリ此目中ニ妙効アル藥

第十四圖



劑トナリ又庖厨用ニ供スル
大黃アリ

第三目六雌藥 此目ハ六個

ノ雌藥ヲ具有セル植物ニレ

テ此目中只一屬ヲ存スルノ

ニ屬中僅ニ二種アリ即英國

ニテ開花蘭ト稱スル草並ニ那不勒府ヨリ移植

セシ實葉ノ者是ナリ

○第十綱 十雄藥 此綱ヲ分ケテ五日トス各

目 植物皆十個人雄藥ヲ具有ス此綱中二百八

第十五圖



十六屬及大凡一千六百四十
八種ヲ包有レテ其中ニ米國
最美ノ花ヲ生ズル灌木及喬
木アリ

第一目一雌藥 此目ハ「カル

ミアス」ジームスニ「メキク

石南「アンドロメダス」ニ「ウダ

等ヲ包有ス此等ノモノハ一般ニ培養セラレ甚翫

賞セラル、植物ナリ又美麗ニシテ芳香ナル安

息香樹「クレト」及其他最美ナル外國產ノ植物

モ亦皆此目中ニ屬ス此諸物ハ只一雌藥ヲ具スルノミ

第二目二雌藥

此目ハ世人ノ能ク認知セルハ

仙花種類多キ虎耳草ノ屬及丁香石竹瞿麥前邊

羅等種類多キ石竹ノ屬ヲ包有ス是等ハ皆二個

ノ雌藥ヲ具有セルモノナリ

第三目三雌藥

此目ハ石竹ノ屬ニ類似セル植

物ヲ包有セルコト甚多レ此植物ハ頗美麗モ

ト雖モ多クハ細小ニシテ年々枯死スル雜草

ナリ「カツチフリ」ハモチナデ「スチ」ハオルト「雀

第十六圖



草ノ「サン」ハオルト「バ」ハ屬

等ハ皆此目ニ屬レテ目中ノ

過半ヲ充セリ且各三個ノ雌

藥ヲ具有スルモノナリ

第四目五雌藥

此目ハ内國

產及外國產ノ植物ヲ包有ス

ルコト頗多シ卷耳繁縷并ニ尋常スルレリ

オホツメ其他五個ノ雌藥ヲ具有スル數多ノ植

物皆此目中ニ屬セリ

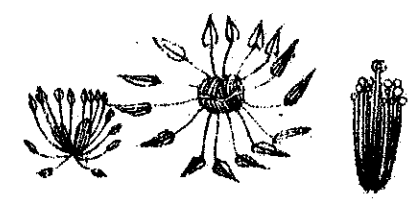
第五目十雌藥

此目ハ十個ノ雌藥并ニ十個ノ

雄藥ヲ具有スル植物ニシテ此目中僅ニ一屬アリ即蒟蒻^{ミヌカハナ}陸^{ミヌカハナ}是ナリ其種ハ九個乃至十個アリ

○第十一綱^{ミヌカハナ} 十二雄藥^{ミヌカハナ} 此綱ニ屬セル植物雄

第十七圖



有名ノ果樹ノル^{ミヌカハナ} 此果^{ミヌカハナ}ヲ有ス此果實ハ全世界中

藥ノ數ハ十二個乃至十九個ノ者ナリ蓋植物中未^{ミヌカハナ}十一雄藥ヲ具有スルモノヲ見ズ此綱中ニハ七目四十九屬四百二十四種ヲ包有セリ第一目一雌藥ハ熱帶地方ニ生ズル

ニ於テ最美味ニシテ最滋養ニナルモノナリ

第二目二雌藥 此目ハ二個ノ雌藥ヲ有スルモノニレテ此目中僅ニ二屬ヲ包有ス通常路傍ニ

生ズル龍牙草^{キニミツヒキ}ハ其一屬ナリ

第三目三雌藥 此目ハレセダノ屬ヲ包有ス其

種中ニ黃色染料ニ用ヰルモノ有リ或ハ芳香アルガ爲ニ培養セラレテ一般ニ愛スル處ノミダ

ノ子トアリ且甚多種ナル續隨子^{ホルトウキ}ノ屬モ亦此

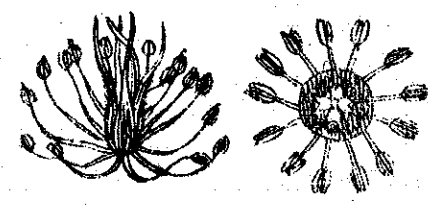
目中ニ屬ス

第四目四雌藥 此目ハ四個ノ雌藥及十三個ノ

雄藥ヲ具有セルモノニレテ此目中唯一屬アリ
 卽カス比菴ノ土産ナル「カ」リゴキハバルラシ
 是ナリ

第五目五雌藥 此目ハ五個ノ雌藥ヲ具有セル
 植物ニレテ此目中僅ニ三屬
 ヲ包有ス「ア」ク「リ」ア「ラ」
 以テ屬中ノ首眼ノモノトス
 三屬中ニテ一屬ヲ除ノ他ハ
 皆熱帶地方ノ灌木ナリ
 第六目六雌藥ハ只一屬ヲ存

第十八圖

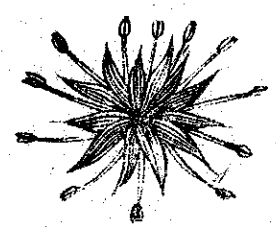


スルノミ即セハロモ是ナリ然ルニ此植物ハ
 奇異物中ノ一ニレテ其葉ニ猪籠草ノ如ク美麗
 ニンテ蓋ヲ具ヘタル壺狀ノモノヲ有セリ

第七目十二雌藥 此目ハ殆

第十九圖

相類似セル二個ノ屬ヲ包有
 ス卽十二個ノ雌藥ト十二個
 ノ雄藥トヲ具有セル「セン」ペ
 ル「ビ」ハ即ホ「ス」リ「キ」是
 ナリ



○第十二綱 廿雄藥 此綱ハ花冠或ハ萼ニ上

ニ廿乃至十有餘ノ雄藥ヲ具フル植物ヲ包含ス
蓋此綱ハ雄藥ノ員數ニ關セズシテ雄藥ノ位置
ニ從ヒ以テ植物ノ品類ヲ定ム且此綱ノ植物ハ
尋常ノモノト相異ニシテ其雄藥花冠ニ傍ヒテ
直ニ萼ヨリ生出ス其萼ノ形狀ハ甚單一ニレテ
其内部凹陷スルモノナリ此綱ヲ分ケテ三目ト
ス目中ニ六十屬千二百十種ヲ包含ス又此綱ハ
最モ有用ナル果實類并ニ甚貴重スベキ花類ヲ
夥シク包含スルユエニリンミース氏分類法ノ
二十四綱中ニ在リテ殊ニ緊要ナル一綱トス

第一目一雌藥

此目ハ一個ノ雌藥及二ト或ハ

第二十圖



二十以上ノ雄藥ヲ具有セル
モノニレテ目中ニ美麗ナル
仙人掌種屬ノセリースエピ
カクサ

イラムオビレンチャス其他タルトレエウダニア

エウカリプト左ハアリ是等ノ植物ハ皆注目スベ

ク且尋常ノモノトハ大ニ相異ニシテ多クハ其

花ヲ貴重スル者ナリ又此目ニ屬スル果實類ニ

ハ番石榴、石榴、及菜園最良ノ薔藥類數多アリ

第二目二雌藥

此目ハ二個乃至五個ノ雌藥ヲ

具有ヤルモノニシテ目中ニ

梨、^{オモリシ}華、^{オモリシ}葉、^{オモリシ}根、^{オモリシ}等ヲ包有セリ、メ

センブリアンゼミ、ムノ如キ

種類多キ屬モ亦此目ニ屬ス

其種ニ至リテハ大凡三百十

三個アリ

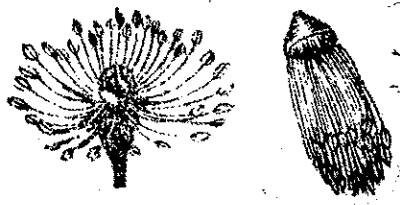
第三目多雄藥 此目ハ絶艶ノ薔薇最美味ナル

英、^{イロハ}懸、^{イロハ}鉤子等及其他華麗ニシテ甚貴ブベキ植物

ヲ包有スルコト最モ多レ

○第十一網 多雄藥 此網ノ植物ハ多數ノ雄

第廿二圖



藥子床^{イロハ}上ニアリテ其數各異同アリ網中ニ一百

七屬九百五十六種ヲ包有ス

第一目一雌藥 此目ハ一個ノ雌藥ヲ有スルモ

第廿二圖



ノナリ其主眼ナルモノハ「ゲ

ペル、ツリ」^{イロハ}嬰子粟、瓢狀ノ葉

アル「サルラセニ」ア美麗ナル

睡蓮^{イロハ}等是ナリ且「ビキサ、オレ

ラナ」モ亦此目ニ屬ス其赤キ

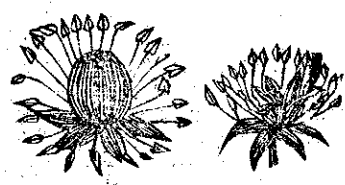
葉肉ヲ「アル」ト名ヅケ之

ヲ染料ニ供スルヲ用甚大ナリ

第二目二雌藥 此目ノ例ニ基^{スル}モハ
 美麗ナル所ノ芍藥ナリ且近來支那及西伯利
 リ新種類ノモノ數多ヲ移植セ^レニ依^リテ此目
 中一屬ヲ増加シタリ統ベテ此目中ニ屬スル
 植物ハ皆二雌藥ヲ具有ス
 第三目三雌藥 此目ハ華麗ナル「テ^ルクハ^ブ」
 「ヒエ^ン」サ有毒ナル烏頭^{カトバシ}及香氣甚^キ「ヒ^ビル
 ナ^ア」等ヲ包有ス

第四目四雌藥 此目中僅ニ二屬ヲ有スル
 即油核子^{オウカシ}及木蘭花ニ類似シタル「ド^ライ^ミス」

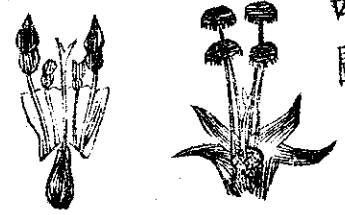
サントリ等ハ皆此目ニ屬セリ
 第五目五雌藥 此目ハ十個ノ屬ヲ包有ス此目
 中ニテ世人ノ知^ルル「^コダ^マ」ハ其一例ナリ
 第六目多雌藥 此目ハ美麗ノ花ヲ生スル灌木
 並ニ草類ヲ包有スル^ル甚多
 灌木中ニテ木蘭花ハ最モ
 著名ノモノト^レ草類中ニテ
 ハ白頭翁^{オキナクサ}及毛茛^{キクウダ}ヲ美麗ノモ
 ト^ス且冬月開花スル植物
 中ニハ福壽草^{フクジュソウ}名^ハ「^ハ」^ル



ルアリ又金梅草和名及猿猴草和名等也中ニテ日
美麗ノ植物ナリ

○第十四綱 二雄長二雄短 此綱ノ花ハ四雄
藥ヲ具有セルモノニルヲ二個ハ長ク二個ハ短
カシ而シテ此綱ハ二目百七十個ノ屬ト千四百

第廿四圖



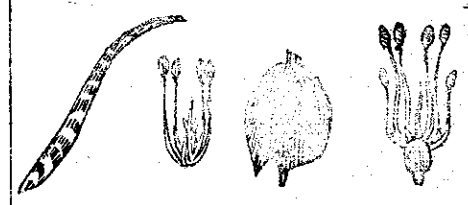
個ノ種トヲ包有ス
第一目裸子 此目ニ屬スル
植物ハ其萼堅固ニシテ遂ニ
子壳トナリ其内ニ裸體ノ種
子ヲ藏セリ又刺賢堦兒薄荷

續斷等ハ皆此目中ニ屬レテ多クハ用井テ以テ
食味ヲ助クル者ナリ

第二目被子 此目ニ屬スル植物ノ被子ト名ヅ
クルハ何トナレバ雄藥ノ數ト位置トハ前ノ裸
子ト同シケレドモ只其異ナル處ハ其種子ノ殼
中ニ存スルニ在ルノミナリ蓋此目ニ屬スル植
物ハ甚美麗ノモノ多レ例ハバ凌霄花及尋常ノ

指頂花ノ如キ即是ナリ
○第十五綱 四雄長二雄短者 此綱ハ六個ノ
雄藥ヲ具有セル者ニシテ四個ハ長ク二個ハ短

第廿五圖



蓋此綱ノ植^ハ食料トナ
 ルモノ多シ即^ハ椰菜^{カブチ}蕪菁^{カブチ}萊菔^{カブチ}
 等はナリ又芳香アリテ愛ス
 可キ花アリ即^ハ黃花紫羅蘭^{アラセイトラ}ス
 トツクアラビスロケット等
 是ナリ且此綱中ニ屬セル植

物ノ種子ハ精良ノ油ヲ含メル者多レ
 リン^{カダチ}ニ^ハ氏子殼ノ形狀ニ基ツキ此綱ヲ分ケ
 テ二目ト爲ス其一ハ子殼短ク^ハテ殆圓キモノ
 ナリ其二ハ子殼ノ長キモノナリ即第六十五圖

ヲ見ルベシ然レドモ子殼ノ形狀長カラズ又短
 カラズレテ其中間ニ屬スル物モ亦少ナカラザ
 ルヲ以テ近時ノ著述者ハ此綱ヲ二目ニ分ツコ
 トヲ廢シタリ

○第十六綱 單體雄藥 此綱ハ雄藥ヲ一體ニ
 結合レタル者ニシテ他綱ノ如ク雌藥ノ數ニ關
 係セズ只雄藥ノ數ニ基ツキ綱中ヲ八目ニ分ツ
 又其目中ニ百三十九屬千四百三十六種ヲ包有
 ス

第一目三雄藥 此目ハ三體ニ結合レタル雄藥

第二十六圖



ヲ具有セル花類ハ皆此目ニ
 屬セリ且又目中ニハ美麗ナ
 ル球根草類アリ即ヘルラリ
 ヤチクリヂヤヘルベルナダ
 等はナリ蓋是等ノ花ハ蕾ニ
 花形ノ尋常ナラザルノミナ
 ラズ頗奇異ナル黑色ノ斑點ト線條トヲ帶ブル
 モノナリ

第二目五雄藥 此目ハ一體ニ結合シタル五個
 ノ雄藥ヲ有スル者ニシテ此目例ニ最モ適當レ

タル者ハ即玉藥花是ナリ
トケイサキ
 ヲシロイハナ

第三目六雄藥 此目ハ一體ニ結合シタル六個
 ノ雄藥ヲ有スル者ニシテ目中只一屬ヲ有スル
 ノミ即ギルリシタグラミニイアド名カル球根
 ノ植物ハ目中ノ一屬ニシテ其葉ハ禾本ノ如ク
 其花ハ奇異ノモノナリ蓋此目ハ他目ト異ニシ
 テ自一種ヲ成セリ

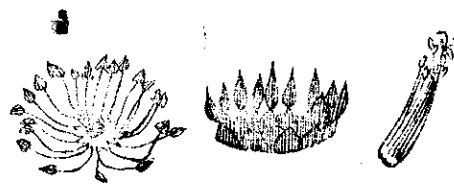
第四目七雄藥 此目ハ雄藥ノ本五ニ聚合シタ
 ル七個ノ雄藥ヲ具有セル植物ニシテ目中一
 牛兒ノ屬ヲ包有ス蓋此屬ハ花ノ形狀及彩色
ニハハス
 ニハハス

變化スルコト一定ナレ又「ベラルゴミ」ム天竺
類屬ハ其種二百三十八アリ此種ハ多ク喜望峰
ノ土産ニシテ當今米國ノ煎糖中ニ培養スル植
物ハ過半此種ニ屬セリ

第五目八雄藥 此目ハ一體ニ結合セタル八個
ノ雄藥ヲ具有スル者ニシテ目中只二屬ヲ包有
スルノミ

第六目十雄藥 此目ハ一體ニ十個ノ雄藥ヲ具
有セル植物ニシテ目中ニ眞ノ「牻牛兒郎」カラ
ス、ビルアリ此等ノ植物ハ多分草類ニシテ溫帶

第二十七圖



地方ノ各處 生ハ又此目中
ニ蛾形花ト稱シテ種々ノ花
辨ヲ以テ成レル美麗ノ植物
多シ其子殻ハ即莢ト名ヅカ
ルモノナリ

第七目十二雄藥 此目ハ一

體ニ十二個ノ雄藥ヲ具有セル植物ヲ包有ス此
目中ニ十二屬アリ皆熱帶地方ニ生スルモノナ
リ其中ニ甚美麗ナル植物アリ

第八目多雄藥 此目ハ一體ニ結合セル數多

雄藥ヲ具有セル花ニシテ目中ニ美麗ナル花ナ
多シ即蜀葵カラフキ、錦葵ゼニアリス、芙蓉イナビ、苘麻バンヤ、木綿樹ムンギ、茶チャ及山茶等是
ナリ

○第十七綱 二體雄藥 此綱ハ二體ニ分ル、
雄藥ヲ具有セル花ニシテ其一體ニ集合セル九
個ノ雄藥ト別ニ一個ノ雄藥アルヲ常ノ者トス
此一個ノ者ヲ第二體ト云フ綱中ニ百二十九屬
千五百六種ヲ包有セリ此綱ノ花ハ多分蛾形ニ
シテ他綱ノモノトハ大ニ相異ナリ
第一目五雄藥 此目ハ二體ニ分レタル五個ノ

第二十八圖



雄藥ヲ具有セルモノニシテ目
中只一屬ヲ包有セルノミ即夫
ノ較美麗トスベキ一年草ナル
亞非利加產ノ「モシ」ニ「ス」ナリ
ホリ「」是ナリ

第二目六雄藥 此目ハ二體ニ

分レタル六個ノ雄藥ヲ具有スル植物ニシテ目
中ニ六屬ヲ包有ス即尋常ノ雜草タル延胡索ハ
屬中ニ在リテ近キ一例ナリ
第三目八雄藥 此目ハ二體ニ分レタル八個ノ

雄藥ヲ具有セル花ニシテ目中僅ニ四屬ヲ包有
ス其屬中ニテ美麗ナル遠志ハ甚種類多ク且最
モ著名ノモノナリ

第四目十雄藥 此目ハ二體ニ分レタル十個ノ
雄藥ヲ有スル植物ニシテ一



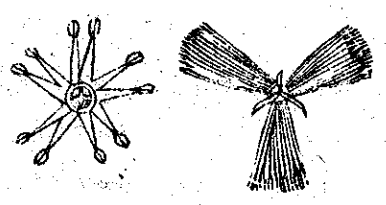
體ニハ九個一體ニハ唯一個
アルヲ通常ノモノトス且此
目中ニ豆莢ヲ具フル植物ヲ
包有スルコト甚多シ蓋此等
ノモノハ皆蛾形ノ花ヲ具ヘ

第二十九圖

テ有用ナル豆類牧草類漆草類ト又美麗ニシテ
貴重スベキ灌木類及喬木類トヲ包有ス即豌豆
蠶豆、翹搖、青黛草等是ナリ

○第十八綱 多體雄藥 此綱ハ數體ニ分レタ
ル多クノ雄藥ヲ具有セル植

第三十圖



物ヲ包有ス此綱ヲ分ケテ二
目ト爲ス此綱中ニ二十一屬
百八十七種アリ
第一目十雄藥 此目ハ數體
ニ分レタル十個ノ雄藥ヲ具

有セル花ニシテ目中僅ニ四屬此屬ハ皆熱帶地
ヲ包有ス其屬中ニ有用ナル甘藷餅ノ類ヲ製ス
ル所カカアアリ

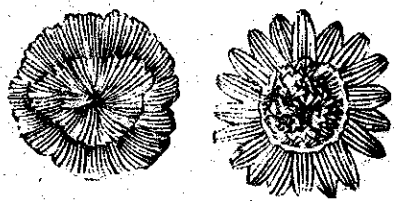
第二目多雄藥 此目ハ數體一分レタル數多ノ
雄藥ヲ具フル花ヲ包有ス此目ノ例ニ適當セル
者ハ平常米國ノ郊野或ハ遊園等ニ生スル小蓮
翹草トリ又煦塘培養ノ植物ニ在リテハ有用ニ
シテ且美麗ノ實ヲ結ブ橙樹ナリ

○第十九綱 雄藥團雌藥 聚成花ハ皆此綱ニ
屬スル者ニシテ種子ヲ具有セル細花ハ皆花房

ニ聚合ス綱中ニ二百七十七屬及二千六百五千
種ノ包有ハ

第一目均等多雌藥 此目ハ兩全ノ細花ヲ具フ
ル者ナリ此目最廣大ニシテ尋常ノ植物ヲ包有

第三十一圖

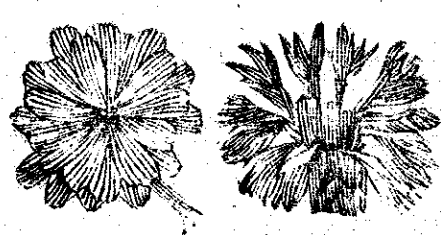


セルコト甚多シ萬草ハ一ク
第一目止マナキク牛蒡アルキ
一クサキノ屬等是ナリ此
等ノモノハ大抵草類ニシテ
多クハ一年生ノモノナリ
第二目過量多雌藥 此目ハ

有用ナル植物及美麗ナル植物ヲ包有セルコト
 甚夥シ甲ノ一例ハ加密列花等ニシテ乙ノ一例
 ハ喇叭亞花是ナリ

第三目不實多雌藥 此目ニ屬スル者ハ向日葵
 ナリ

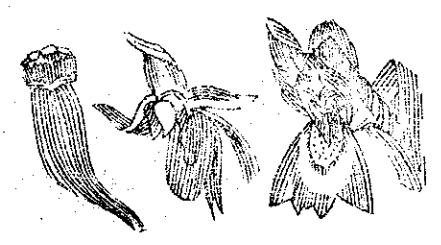
第四目緊用多雌藥 此目中
 ノ植物多クハ喜望峰ヨリ移
 植セシ者ニシテ其中ニ有名
 ノ二屬アリ即金盞花アルコ
 トヲ等足ナリ



第三十二圖

第五目分離花ノ者 此目ニ屬
 スル植物ハ皆外國產ノ草類及
 亞灌木ナリ

第二十綱 雄藥着雌藥 此綱
 ナレドハ



ハ雄藥ノ雌藥上ニ附著セル
 植物ヲ包有スル者ニシテ綱
 中ニ百十屬及四百三十七種
 アリ蓋此種ノモノハ塊根ノ
 草類或ハ奇異ノ節アル草類
 或ハ蔓草類ニシテ其花最美



第三十三圖

麗且芳香アリテ其形狀ハ皆奇異ノモノ多シ此
綱ヲ分ケテ三目ト爲スコト左ノ如シ

第一目一雄藥 此目ハ雌藥ノ上ニ附著セル一
個ノ雄藥ヲ具ヘタル植物ヲ包有ス此目ニ屬ス
ル植物中ニハ吾人尤眷愛スル所ノ野生植物アリ

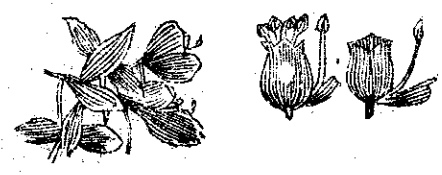
第二目二雄藥 此目ハ雌藥ノ上ニ附著セル二
個ノ雄藥ヲ具ヘタル花ニレテ目中ニ美麗ノ
ジーススリツブレアリ

第三目六雄藥 此目ハ雌藥ノ上ニ附著セル六

個ノ雄藥ヲ具ヘタル植物ヲ包有ス

○第廿一綱 雄雌同株者 此綱ハ同株ニシテ

第三十五圖



雄花ト雌花トヲ具有セル植
物ナリ綱中ニ百四十七屬及
千五十二種ヲ包有ス而レテ
此綱ヲ分テ十目ト爲スコト
左ノ如シ

第一目一雄藥 此目ハ相離
レタル雄花ニ一個ノ雄藥ヲ具有セル者ナリ目
中ニ五屬ヲ包有ス其一ハ南海諸島ノ土産ニレ

テ有名ナル麵藥樹ナリ

第二目二雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニ二個

ノ雄藥ヲ具有セム者ナリ尋常ノ浮萍モ此目中

ナアリ

第三目三雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニ三個

第三十六圖



ノ雄藥ヲ具有セム植物
ヲ包有ス王蜀黍等ハ皆
此目ニ屬ス

第四目四雄藥 此目ハ

相離レタル雄花ニ四個ノ雄藥ヲ具ヘタル植物

皆是ナリ且此目中ニ赤楊樺ハルキ及黃楊ワウキ桑等ナリ

第五目五雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニ五個

ノ雄藥ヲ具ヘタル者皆是ナリ此目中ニ最モ

著名ノ者ハ苧菜シラカサナリ

第六目六雄藥 此目ノ相離レタル雄花ニ六個

ノ雄藥ヲ具ヘタル者ナリ此目ニ屬セル植物ハ

櫻欄ノ種類及其ニ似タル者ナリ即柳樹ハナハナ西穀樹

及アクロコヒア等はナリ

第七目八雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニ八個

ノ雄藥ヲ具ヘタル者ナリ此目ハ甚小ニシテ只

一屬ヲ有セルノミ即智利國ノ産ニシテ高樹ノ
 「ジバ」是ナリ且此目中ニ二種アリ其一ハオ
 ヒ^地名ヨリ移植セ^レ者ナリ

第八目升雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニシテ
 華ニ附著セル數多ノ雄藥ヲ具



第三十七圖

ヘタル植物ヲ包有ス而シテ植
 學家モ纔ニ此目ニ妥當スル所
 ノ者僅ニ一屬ヲ發見セ^レノミ
 即新和蘭ヨリ移植シタルアセ
 ロスベルグモスカタト名ヅクル一樹是ナリ

第九目多雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニシテ
 花房ニ附著スル夥多ノ雄藥



第三十八圖

ヲ具有セル植物ヲ包有ス此
 目ハ頗廣大ニシテ嬌麗ナル
 秋海棠或ハ栗山毛櫟榛胡桃
 櫟樹ノ類多クハ皆此目中ニ
 屬シ楓樹及種類多キ大南星

ノ屬モ亦此目中ニアリ

第十目單體雄藥 此目ハ相離レタル雄花ヲ具
 セル植物ニシテ其雄藥一體ニ結合ス此目ハ綱

中ノ最大目ニシテ至大ノ林樹
ヲ包有^ルリ即^チ松^ノ櫟^ノ落葉松^ノ柏^ノ
樹^ハ杉^ノ樹^等是^{ナリ}ナリ壺^ハ蘆^ハ甜^ハ瓜^ハ胡^ハ瓜^等
等モ亦此目中ニ在リ

○第廿二綱 雄雌異株者 此

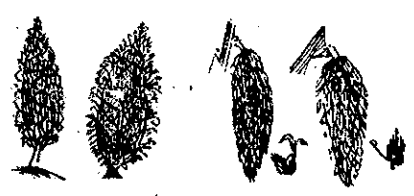
綱ハ異株ニ單性ノ花ヲ具フル植物ナリ近世ノ
要語字典ニ此綱ハ百三屬六百六十種ヲ包有セ
ルコトヲ記載セリ且此綱ヲ分ツコトハ十三目
ヨリ少カラズ即左ノ如シ

第一目一雄藥 此目ハ異株ニ單性ノ花ヲ具フ

第十三圖



第十四圖



ル植物ニシテ之ニ屬セル雄本ノ花ハ只一個
雄藥ノ具フルモノナリ又此目ハ僅ニ二屬ヲ
包有シテ其一ハ著名ノ露兜樹^{スターウ、バイ}
イ^ント^云ナリ此樹^フスク^リウ[、]バ^イント^名ダ^ク
ル所以ハ其葉恰モ鳳梨ノ葉ニ類似シ只其異ナ
ル所ハ鳳梨ヨリモ大ナルノ
ミ蓋此種ハ葉ノ幹ヨリ生ズ
ルコト甚異様ニシテ對生ニ
モ兼ズ又ハ互生ニモ非ズ其
上葉ハ下葉ヨリ少シク左傍

ニ偏シテ相生シ又其上葉ハ更ニ左偏シ幹ヲ遮
テ相生スルコト恰モ螺旋ノ狀ニ彷彿タリ
第二目ニ雄藥 此目ハ異株ニ單性ハ花ヲ具ス
ル植物ヲ包有ス目中ノ雄本ハ皆二個ノ雄藥ヲ
シ又目中ニ四屬アリ其中ニテ尋常ノ水楊ハ主
眼ノモノトス四屬中更ニ百六十七個以上ノ種
ヲ包有セリ

第三目三雄藥 此目ハ此木ニ雄花彼木ニ雌花
ノ開ク者ニシテ其雄花ハ各三個ノ雄藥ヲ具有
シ月中ニ十二屬ヲ包有ス其一屬中濕地ニ生

第四十一圖



テ類蔓延スル植物アリ即若
高蘭和名是ナリ且波斯及他ノ
諸國ニ野生シテ人生ニ必用
ナル波斯藥モ亦此目ニ屬セ
リ

第四目四雄藥 此目ハ異株

ニ單性ノ花ヲ具サル植物ニシテ目中ノ雄本ハ
每花皆四個ノ雄藥ヲ具ヘタリ且目中ニ十五屬
ヲ包有シ屬中ニ蠟子樹名樹等アリ
第五目五雄藥 此目ノ雄本ハ五個ノ雄藥ヲ具

フル花ニシテ目中ニ十三屬
ヲ包有ス此屬中庖厨用ニ供
スル菠薐菜及甚貴重スベキ
蛇麻草アリ

第六目六雄藥 此目ハ六個

ノ雄藥ヲ具ヘタル雄花ヲ開

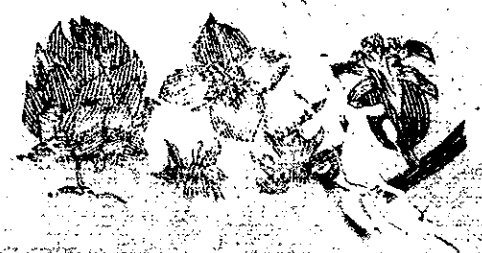
ク植物ニシテ上挾苓ノ屬ニ亦之ニ屬セリ目中

ニ十七屬ヲ包有シ屬中ニ梭欄ノ種類六個アリ

此梭欄中亭ノトシテ凌雲ノ喬木アリ此等ノ梭

欄具生産セル諸國ニテハ甚美麗ナリハ云々又

圖二十四第



此屬ノ種中ニ乾藥ト爲ス可キ者アリ

第七目八雄藥 此目ハ單性ノ植物ニシテ八個

ノ雄藥ヲ具ヘタル花ヲ開ク

者ナリ且此目ハ太少ニシテ

只白楊樹ノ一屬ヲ有セルノ

圖三十四第



第八目九雄藥 此目ハ九個

ノ雄藥ヲ具ヘタル雄本

ニシテ亦僅ニ三屬ヲ包有スル處ノ小目ナリ

第九目十雄藥 此目ハ十個ノ雄藥ヲ具ヘタル

第四十四圖



狀ノ草本ナリ

第十目十二雄藥

此目ハ十二個ノ雄藥ヲ具フ

ル雄本ニシテ目中ニ六屬ヲ包有セリ

第十一目廿雄藥

此目ハ大抵華中ニ挿入セラル

雄本ニシテ目中ニ五屬ヲ包有ス

蓋其屬ハ皆外國ニ出ス

ナリ屬中主眼ナリ者ノ一ハ

印度及米國西方ニテ通常多

ク食スル甜瓜ノ如キ菓實ヲ

結フ所ノ萬壽果ニシテ喬木

第四十五圖



廿個ノ雄藥ヲ具ヘタル花ノ雄本ヲ包有フ

第十二目多雄藥 此目ハ花

房ニ固著セル數多ノ雄藥ヲ

具ヘタル雄本ニシテ目中ニ

七屬ヲ包有ス蓋其屬ハ皆外

國產ノモノナリ

第十三目單體雄藥 此目ハ一體ニ結合セル數

多ノ雄藥ヲ具ヘタル花ノ雄本ヲ包有ス蓋其

十五屬アリテ屬中ノ植物ハ其大小生長等甚異

○第廿四綱

殖機隱微者

此綱ハ雄雌藥陰ニ

第四十九圖



配合セル者ナリ之ヲカクテ
九目トス目中ニ三百七十六
屬二千六百六十二種ヲ包有
ス

第一目羊齒科 寒國ニ生ズ

ル羊齒類 蕨 熱帶地方ニ生

ズル者ハ柳樹ト類似シテ其

形狀モ殆ト相同ジ凡羊齒類ハ皆一年草ニシテ柳

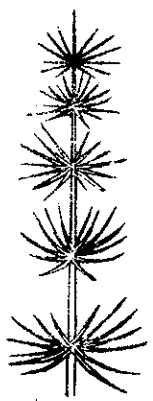
樹ノ如ク堅牢ナラズ一雖モ南亞米利加ニ生ズ

ル羊齒中ニハ其長實ニ柳樹ノ如キ者アリ

第二目木賊科

此目ハ唯木賊ノ一屬ヲ包有ス

第五十圖



ルノミ蓋此目名ハ其屬ニ因
リテ命ゼレ者ナリ即池沼及
溝渠ニ生ズル尋常ノ問荆是

ナリ又某國ニテハ此植物

ニ「フログ、パイプ」蛙ノ管ト云ト名ヅク其故ハ此

植物蛙ト同處ニ生殖スルヲ以テナリ

第三目石松科

此目ハ僅ニ二屬ヲ包有スル

ミ目中ノ植物ハ泥炭アル沼地ニ生ジ或ハ泥炭

多キ濕地ノ森林ニ生ズル者ナ
 リ又此目ヲ稱レテクラブ、モス
 藓木狀ノ苔ト云フ是其植物ノ
 形狀ニ依リテ命名タル者ナリ
 第四目蘚科 此目ハ四屬ヲ包
 有セル者ニシテ其屬ハ皆濕地

第五十二圖



ノ苔類及木中ニ生ズル甚
 著名ノ植物ニシテ其形狀恰
 モ細小ナル羽翹ノ攢簇セル
 ガ如クレテ或ハ其尖頭ニ小

第五十一圖



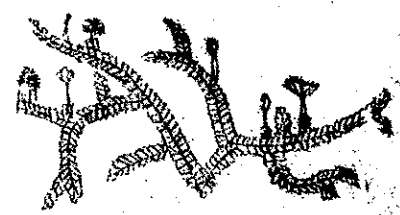
球ノ具スルモノアリ故ニ此植物ヲ名ツゲテ
 子草ト稱ス
 第五目土馬駿科 此目ハ數多ノ屬ト種トヲ包
 有セル者ニシテ其屬ハ唯北方ノ寒國及陰暗ノ
 濕地ニ繁茂スルノモ若此植
 物ノ沼地及濕地ヲ被覆スル
 トキハ恰モ柔軟ノ毛布ヲ展
 ベタルガ如レ又此屬ハ植物
 中細微ノ者ナリト雖モ能ク自己ヨリ夫ナル植
 物ヲ養育スルノ効用アリ

第五十三圖



第六目地錢科 此目ハ細小ノ匍匐根ニシテ葉ハ
 名ナラザル植物ノモ其葉ハ
 恰モ屋瓦狀ニシテ互ニ相重
 疊セリ且頗^{グハ}地衣^{グハ}草ニ類似ス
 レドモ全ク相異ナル者ナリ
 目中ノ一屬ナル「シヤレシヨ
 ム」ハ好テ尋常ノ沼地或ハ陰濕ノ森林或
 ハ溪流緩徐ナル山傍ノ地ニ茂生スル者ナリ
 第七目藻科 此目ハ七十九屬ヲ包有レテ其過
 半ハ湖海江河等ニ生ズル藻類ナリ目中第二屬

第五十四圖

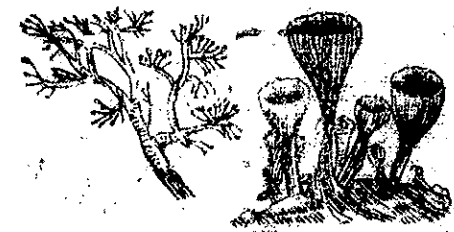


第五十一圖



ノ中ニ水綿^{ミヅワタ}藻^モアリ其形狀ヨリモ却テ其色色ヲ以テ速ニ注目セラル、處ノ著ルキ者ナリ總ベテ貯水器中或ハ小流中ノ石上ニ生ズル綠色ノ莖渣ハ即一種ノ水綿ナリ且夥多ノ藻類アリテ大洋ノ深處若クハ淺處ニ繁茂セル者之ヲ海藻ト名ヅク
 第八目地衣科 岩石家屋壁上若クハ樹木枝幹等ニ生ジ鱗狀ニシテ灰色ヲ帶ヒタル者ハ皆

第五十六圖



此目ニ屬ス蓋此等ノ者ハ其
形狀甚數多ニシテ或ハ薄
黒皮紙ノ如ク且能ク蔓延ス
ル者アリ或ハ萌生スル表面
ヨリ突起シテ灰色ヲ帶ヒ毛
茸アル房

ノ如キ者アリ又此地衣中ニ
ハ動物ノ食料トナルベキ者
アリ即拉巴蘭ニテ馴鹿ノ食
ニ供スル者ハ只石葉ハナダマ地衣ノ

第五十七圖



其他有利用ノ藥劑トナリ又染料トナルモノ一
二個アリ地衣ノ實ハ小瘡ノ如キ者若クハ細小
ナル皿ノ如キ者ナリ

第九日芝栴科

此目ハ凡マテ菌類ヲ包有セル

第五十八圖



者ニシテ近世ノ著書ニハ此
目中ニ百五十九個以上ノ屬
ト千百五十個以上ノ種トヲ
有セリト爲ス且此屬種ノ外
ニ尚未發見セサル者數多
ルコト疑ナシ蓋菌類ハ大半

朽木枯草及動物ノ死體ニ生スル者ニシテ或ハ
庖厨食用ニ供スル者アリ或ハ有毒ニシテ甚警
戒ス、キ者アリ且木材ノ乾枯腐敗スルハ種々
ノ菌ヨリ起ルト云ノ
既ニ上條ノ如ク植物綱目ノ一覽ヲ記シ終リタ
リ然レモ其屬ト種トノ數ニ至リテハ我嘗テ認
知セシ者ト又我嘗テ記錄セシ者トノミナリ故
ニ必其遺漏ナキト能ハズ今茲ニ記載ニ付ル
所ノ者モ亦恐ラクハ數多ナルマ

植物界再案

今茲ニ再案トシテ有形界ノ廣大ナルニ就
化ノ經營セシ大功業ハ實ニ驚歎ス可キコトヲ
記マシ世人試ニ植物界ヲ閱歷セハ其產物ノ夥
多ト其種類ノ無數トニ驚愕スベシ蓋此等ノ產
物ハ學士ヲシテ曉解セシマルコト猶彼ノ奇想
アル理學ニ於ルカコトクナルベシ
吾人須ユク喬ルヘン雪片上ニ長生シテ方一
シヲ我ハ分ヲ蓋フニハ二百五十萬株ヲ要スル
公微ノ三厘強トニハリ一ハ植物ヨリ以テ巨大ナ

ル林水ノ樹木或ハ熱帶ニ産スル海藻ノ一種
シテ其長セシ丈ニ及ブビエルクスガ
ハ海藻ノ名ニ至ル迄大小各種ノ植物ト又地球全面
ノ山谷岩石等ハ皆植物ヲ以テ被覆セラレタル
コト而シテ洋海ノ深處ト雖モ數萬ノ植物繁茂
シ佛勒里達^{米原ノ地名}近傍ヨリ「グーフ、ウルド」^{リカ}
名^{ノ呼}ニ至ル迄千百里ノ海中ハ殊ニ藻類夥シク
茂生シテ舟行ヲ妨碍スト云フ

植物ノ員數及種類ハ頗無窮ニレテ其驚愕スハ
キモノナリ既ニ植學家ノ認知セル種類大凡

萬アリト云フ此數ハ蓋植物界中ノ僅ニ一部分
タルコト疑ナシ其種類ハ各性質ノ殊異ナルガ
爲ニ其形狀並ニ彩色夥多アリテ或ハ藥材ニ供
スルモノアリ或ハ動物ノ食料滋養ト爲ルモノ
アリ或ハ有毒ニシテ甚危殆ノモノアリトス
百科學中一在リテ娛樂ノ心ヲ生ズル者ノ植物
學ニ若クモノナシ蓋花ヲ愛スルコトハ天真ニ
出ヅルモノト其故ハ兒童ノ如キ無心ト雖
モ猶能ク花ヲ愛娛スルノ情アレバナリ然レド
モ彼ガ如キ愛娛ト植學家ノ能ク草木ノ名ヲ知

リ其樹ハ果綱ニ屬シテ某處ニ生シ其質如何ヲ
認知セハ有ノ娛樂トヲ比較スル片ハ彼ノ愛娛
ハ實ニ微少ノモノト謂フ可キナリ
又百科學中ニテ植物學ヲ學ブヲ以テ最モ高尚
ニ且有益ナルモノトス蓋植學ヲ學ブ者ハ造化
功業ノ緻密ニシテ且其大全ノルコトヲ察知ス
ルニ足ラン蓋其功業タルハ天體運動ノ法則ヲ
定ムルカヲ以テ草葉花葉等ノ生長ニ至ルマデ
統バテ主宰スル靈妙明慧ナル真神ノ所爲タル
コトヲ感得ス可シ

夫○一○隻○ノ○雀○ト○雖○モ○造○化○ノ○許○可○ナ○ク○バ○地○上○ニ○
ス○レ○コ○ト○能○ハ○ズ○ト○謂○ル○語○アリ○蓋○前○條○ノ○說○ハ
實ニ吾人ヲシテ造化ノ功業ハ確然此語ニ違ハ
サルコトヲ感歎セラルニ在リ嗟呼造化ノ花
ヲ作ルハ其思慮最モ深シト謂フ可シ彼風雨ア
リテ花ノ纖綴ナハ巧エヲ害セシト欲スルトキ
ハ其花自ラ歟マリテ能ク此害ヲ防護ス試ニ短
姪ノ小菊ヲ見ヨ其花美麗ニシテ其形最モ纖
巧ヲ極メタリ況ヤ造化花ノ優惠ヲ恩錫セル才智
考慮覺悟等ヲ具有シタル人生ニ於テヲヤ惡ガ

造化ノコレヲ眷顧セザルコトアテレモレゴ、パ
ルクト云ヘル人旅行中勞苦嗟嘆ニ堪ヘサルハ
トアリレガ偶然野生ノ卉花ヲ見テ前説ノ如ク
造化ノ人生ヲ眷顧ス可キ道理ヲ回想シ大ニ其
心ヲ慰メレ説話曰ク同氏嘗テ亞非利加洲ニ
旅行セシ際頗困憊セレカハ地上ニ憩息シ眸ヲ
回ラセトモ更ニ人烟ヲ見ズ耳ヲ歌ケレドモ曾
テ人聲ヲ聞カズ孤影蕭索客心凄冷タリ偶路傍
ニ生ビル嬌麗ナル一小花ヲ見テ精神大ニ鎮靖
レ忽ニ回想シテ以爲ラク吁嗟造化王斯ク荒涼

ナル原野ノ小花ヲ愛護レ損害ヲ防禦セシムル
コト彼カ如ク然リ況ヤ人生ノ窮困悲歎ニ於テ
ル豈其超然トシテ眷顧ヲ垂レザルコトアラレ
ヤト自心思ヲ慰メ遂ニ欣々然其地ヲ去リテ行
進セシト云フ

植物學科ハ博物學中他ノ各學科ノ如ク能ク其
蘊奧ヲ極メバ珍奇ヲ發明スルコト愈多カルベ
レ吾人試ニ蕁草六ノ種子ヲ將テ推考ヒバ心中
ニ驚怪ノ思想ニ起スコト何如ソヤ蓋草木ノ種
子ハ皆生機ヲ具有シ其時ヲ得ルトキハ種母體

ノ赤子ヲ産スルガ如ク宛然トシテ喬木若クハ
灌木ヲ生トス可シ彼小殻ニテ被包セル
即茂葉繁枝鬱乎タル大樹ノ本派ナリ
造化主ハ草木ノ種子ヲ地球ニ散布セシガ爲ニ
種々ノ方法ヲ設ケテ種子ヲ創造セリ茲ニ鳳仙
花ト名ツクル植物アリ其子殻中ニ種子ヲ包含
シ時ヲ得レバ則子殻破裂シテ含蓄セル處ノ種
子四方ニ飛散スル者ナリ此鳳仙花ニ就テ左ノ
奇談アリ

某氏曾テ數名ノ朋友ニ誘ハレ本草園ニ行キ

カ路側ニ生長セタル一種ノ植物アリ其名ヲ問
ヘル際ニ一人ノ少女何心ナク手ニ以テ此植物
ノ枝上ヲ拂ヒタリ時ニ其子殻破裂シテ種子驚
然迸散シ少女ノ顔面ヲ撲チタリ少女以テ羽蟲
ノ巢ヲ搖攪セシト思ヒ叫ビ曰ク呀々吾何ヲ爲
シタル乎ト喫驚シテ逡巡セリ同行ノ人此景況
ヲ目シテ大ニ笑ヲ湛セタリト云フ
數多植物一種子中ニハ細小ノ翅翼ヲ具スルモ
ノアリ此類ノ種子ハ風ノ爲ニ散播セラレテ四
方數里外ノ地ニ散布スルヲ至ル今其翅翼ヲ具

有ニタル種子ノ一例ヲ舉ゲシハ薊ノ絨毛即
ナリ此絨毛ハ常ニ六種子ニ附著スルヲ以テ
ク種子ヲ一ナ四ホニ蓬飛セシム又亞細亞ノ池
漠内ニ布置レタル小池中ニ霖雨ノ際毎ニ生長
シテ年々死枯スル一種ノ植物アリ其種子ハ莖
ニ生ジ亞麻纖維ノ如キ物ヲ以テ包圍セリ此種
子熟スル時ハ自落下シ池水尚溜滯スレバ則膏
ヲ其種子ヲ結ヒレ植物ノ近傍ニ於テ萌芽ス若
又池水乾涸スレバ則彼ノ亞麻纖維様ノ物開發
シテ以テ翅翼ニ變シ風陣ニ掀起セラレテ種子

ヲ飛散シ遂ニ其適宜ノ地所ニ達セシムルニ至
ル

種子ニ永ク其生機ヲ保存スベキ物質アルヲ實
ニ靈妙ト謂フベキナリ蓋種子ノ此生機ヲ保存
スルハ實ニ數百歳ニ過グルコトヲ曉ルベシ世
人今種子ヲ見テ其十分乾萎シ全ク枯槁セリト
思ヒ之ヲ擱セシ後更ニ久シキ歲月ヲ經テ之ヲ
適宜ノ地ニ種ウニ此種子能ク萌發シテ花ヲ
開キ實ヲ結ブベシヘキストルボワイト氏ノ説
話ニ曰クモルホルシ地名ニ數百年ヲ經シ山毛櫸

ノ古木アリ之ヲセムルシノ近隣ニ移植セシ
時其跡ニ數多ノ蠻女萌出セリ蓋此蠻女ノ種也
ハ必數百年間山毛榉ノ根下ニ埋没潛伏セシ
ノナラント

西班牙人往時伯露國南亞米利加ヲ所領セシ時此國

ノ主屬タルインカス人種ハ皆食糧ヲ負ヒ去リ
テ荒野ニ遁逃セリ現今此荒野中ニ於テ往々二
三粒ノ玉蜀黍ヲ蓄藏セル狭口ノ古器ヲ得ルコ
トアリ思フニ此器中ニ存スル處ノ玉蜀黍ハ當
時インカス人種此地ニ遁レレトキノ食糧ナラ

ン又試ニ此玉蜀黍ヲ種エタルニ三百有餘年祇
中ニ籠罩セン物ナレドモ能ク萌芽シテ子實ヲ
結ビタリト云フ

上古ノ埃及土人ハ其法教ニ關涉セシ想像ニ依
リ往々木乃伊ミイラ屍體ミイラヲ割キ臟腑ヲ去リテ藥物ミイラト
ト爲タル死體ノ掌中或ハ脚板ニ一種ノ百合花
ヲ安置スル風習アリ此百合花ハ球根ノ種類ニ
シテ頗葱ニ類似スル者ナルガ往々地上ニ露出
セル木乃伊ヨリ採摘セタルコト之ノリ此根ハ
兩三種ヲ植ルニ嘗テ水乃伊ノ棺内ニ在リテニ

千餘年ノ星霜ヲ經タレドモ猶能ク萌芽シテ花
ヲ開キ實ヲ結ブト云フ

茲ニ何人ヲ論ゼス少ク博物學ヲ學ビタル者
ハ實ニ巨萬ノ金坑ヲ有セルヨリモ更ニ貴重ス
ベキ歡樂ノ本原ヲ得タル者ト稱ス可レ請フ此
語ヲ以テ植物界再案ノ愉快ナル論說ヲ結局ニ
隨テ次ニ動物界ノ論說ヲ述ベレ讀者若次編ニ
至ラハ更ニ造化主ノ智能ト德澤トヲ感佩ニ大
ニ驚愕スベキ期アル可レ

貝氏博物學卷之三終